

令和2年9月23日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

総務文教常任委員会委員長 東口 隆弘

所管事務調査報告書

本委員会において、次のとおり所管事務調査を終了したので、会議規則第77条の規定により報告する。

記

1 学校教育に関する事項

- (1) 調査期日 令和2年7月21日（1日間）
- (2) 出席委員 東口隆弘、田口廣之、小島智恵、小川純文、中橋友子
(以上5名)
- (3) 欠席委員 藤谷謹至
- (4) 調査内容

① 幕別町学校施設の長寿命化計画（素案）について

「幕別町学校施設の長寿命化計画（素案）」について説明を受けた。
委員からは、今後の計画策定に向けたスケジュールや学校教育施設の
安全性などについて質疑が行われた。

2 議会及び行政一般に関する事項

- (1) 調査期日 令和2年7月21日（1日間）
- (2) 出席委員 東口隆弘、田口廣之、小島智恵、小川純文、中橋友子
(以上5名)
- (3) 欠席委員 藤谷謹至
- (4) 調査内容

① 幕別町の表彰例規の見直しについて

功労表彰に係る表彰基準の見直し内容について説明を受けた。
委員からは、改正後の基準での表彰の対象者などについて質疑が行わ
れた。



3 学校教育に関する事項

(1) 調査期日 令和2年8月11日（1日間）

(2) 出席委員 東口隆弘、藤谷謹至、小島智恵、小川純文、中橋友子

（以上5名）

(3) 欠席委員 田口廣之

(4) 調査内容

① 学校施設の状況について

劣化度の高い幕別小学校、札内北小学校、札内東中学校の現地調査を行い、校舎、体育館の状況及び改修等の経過について説明を受けた。

委員からは、視察した3校の改修内容や概算改修費用を示してほしいとの意見が出された。



令和2年9月23日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

民生常任委員会委員長 野原 恵子

所管事務調査報告書

本委員会において、次のとおり所管事務調査を終了したので、会議規則第77条の規定により報告する。

記

1 国民健康保険及び国民年金に関する事項

- (1) 調査期日 令和2年7月29日（1日間）
- (2) 出席委員 野原恵子、岡本眞利子、石川康弘、内山美穂子、
酒井はやみ、千葉幹雄（以上6名）

(3) 調査内容

① 国民健康保険制度について

国民健康保険制度のしくみ、都道府県単位化及び幕別町の状況について説明を受けた。

委員からは、繰入金の状況や、広域化による住民負担の状況などについて質疑が行われた。



2 社会福祉及び障害福祉に関する事項

(1) 調査期日 令和2年8月19日（1日間）

(2) 出席委員 野原恵子、岡本眞利子、石川康弘、内山美穂子、
酒井はやみ、千葉幹雄（以上6名）

(3) 調査内容

① 発達支援センターについて

発達支援センターの事業について説明を受けた後、療育現場の視察をした。

委員からは、相談への対応や保護者支援の状況のほか、関係機関との連携などについて質疑が行われた。



令和2年9月23日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

産業建設常任委員会委員長 谷口 和弥

所管事務調査報告書

本委員会において、次のとおり所管事務調査を終了したので、会議規則第77条の規定により報告する。

記

1 水道に関する事項

(1) 調査期日 令和2年7月17日（1日間）

(2) 出席委員 谷口和弥、若山和幸、小田新紀、荒 貴賀、芳滝 仁、
藤原 孟（以上6名）

(3) 調査内容

① 水道事業経営戦略について

令和2年度末までに策定が求められている幕別町水道事業経営戦略について説明を受けた。

委員からは、人口減少に伴う給水戸数の減少、技術職員の加配などについて質疑が行われた。

② 簡易水道事業経営戦略について

令和2年度末までに策定が求められている幕別町簡易水道事業経営戦略について説明を受けた。

委員からは、農業者の経営規模が大きくなり営農用水の需要が多くなっていくこと、施設の老朽化への対応などについて質疑が行われた。

2 下水道及び個別排水処理に関する事項

(1) 調査期日 令和2年7月17日（1日間）

(2) 出席委員 谷口和弥、若山和幸、小田新紀、荒 貴賀、芳滝 仁、
藤原 孟（以上6名）

(3) 調査内容

① 下水道事業経営戦略について

令和2年度末までに策定が求められている幕別町下水道事業経営戦略について説明を受けた。

委員からは、下水道普及率、未接続の状況などについて質疑が行われた。



3 農業畜産業及び林業に関する事項

(1) 調査期日 令和2年8月21日（1日間）

(2) 出席委員 谷口和弥、若山和幸、小田新紀、荒 貴賀、芳滝 仁、
藤原 孟（以上6名）

(3) 調査内容

① 「ほなみマルシェ」、「らららマルシェ」及び「愛菜屋」【視察】

千住地区の「ほなみマルシェ」では、6次産業化への取組、新型コロナウイルス感染症の影響について説明を受けた。クロスタウンおとふけ内の産直市場「らららマルシェ」、めむろファーマーズマーケット「愛菜屋」も視察し、地場産市場について調査を行った。



4 その他

(1) 各種団体との意見交換会

- ① 実施期日 令和2年7月17日（1日間）
- ② 出席委員 谷口和弥、若山和幸、小田新紀、荒 貴賀、芳滝 仁、
藤原 孟（以上6名）
- ③ 実施団体名 幕別企業協同組合
代表理事 瀬瀬 明、理事 瀬瀬 周、
業務処理責任者 吉田 尚、事務局長 咲間洋郎
忠類事業協同組合
代表理事 加藤茂樹、業務処理責任者 加来 真
オブザーバー 幕別建設業協会会長 藤原 治
- ④ テーマ 道路管理の状況について
- ⑤ 主な意見

- ・ 4月から郊外の砂利道整備、スノーボールの撤去、砂利道の路面整正（グレーダー作業）が終わり、機械での草刈りをしている。8月のお盆前くらいまでは、機械2台で作業する。ガードレールの下などは人力での草刈りをしている。
- ・ 3月の降雨の影響により路面だけ雪が溶けた状態となったことから、道路の傷みが激しかった。
- ・ 昨年までは、年2回の草刈りであったが、今年度から年1回になった。町道は距離が長いので、草が伸びてくる7月から8月になると、初めにやったところは終わった時にはだいぶ伸びている。
- ・ 1回であるが、もう少し柔軟にやるようにしないと、除雪も一緒だが、どうしても始まりから終わりまでに時間がかかる。
- ・ 草刈りをする意味も昔と今とでは異なり、車が見通せればよいということだけではない。草刈りの価値観がやっぱり変わってきている。
- ・ 役場からの貸与車両が12台あるが、機械が古くなってきており、特殊な機械なので修理すると高額になるため、ある程度、古い機械を更新していかないとダメな時期ではないかと思っている。
- ・ 簡素化・効率化と実際の維持管理に必要とされることがうまくリンクするかどうか。見落とし部分があるのではないかという不安がある。

- ・車上からの道路パトロールは、附属物や看板、道路の路面状況の確認、道路側溝も本来であれば見なくてはならないが、実際は時間的に見る事ができない。
- ・草刈りを1回だけと決めたら1回ということではなく柔軟に対応していただけたらよい。
- ・除雪のオペレータの立場から言うと、路面からとび出ているマンホールはものすごく怖い。
- ・除雪に関して、町広報紙等で周知しているが、まだまだきちんと認識していない町民もいる。
- ・オペレータがスムーズに仕事ができるような環境づくりをしてほしい。
- ・オペレータの人員不足という課題は除雪だけではなく、全ての事業である。組合とは別に路線を持っている企業があるが、担い手がいなくて路線をやめる企業もある。
- ・必要なとき、必要な分だけいつでも来てもらえるという考えは捨てた。常時、人が来られるように体制を整えるということ。設計には一部反映はされたが、雇用先には大事な要素である。
- ・マンホール一つ直さない状況で、本当に事故があつて怪我をして重篤な状態になったときにどこでどう責任を取るのか。私たちの工事は全て安全管理から始まる。
- ・除雪もお金がないからと言って、削減して良いのか。それであれば、大雨が降って洪水になっているときに、お金がないからと言ってそういったことにはならない。

